

[資料]

日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科20年のあゆみ ～ 1期生から20期生の卒業時点での進路状況から～

高橋謙一

The history of 20 years of Department of Care and Welfare, Japanese Red Cross Junior College of Akita: From career path status at the time of graduation of students from 1st to 20th cohorts

Kenichi TAKAHASHI

要旨：1996年の開学以来、日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科は形を変えることなく21年が経過した。2017年3月には20期生が卒業し、卒業者の総数は983名である。全卒業生983名のうち各期の卒業時点（各年度末）で進路が決定した者の総数は952名である。就職内定者は916名であり、介護・福祉領域へ就職内定した者の総数は899名（秋田県内802名、県外97名）であった。また、進学者の総数は36名であることが明らかになった。

キーワード：介護福祉士養成教育、卒業時点での進路、介護・福祉領域への内定

Abstract : Since its foundation in 1996, 21 years have passed without changing the form of the Department of Care and Welfare, Japanese Red Cross Junior College of Akita. The 20th cohort students graduated in March 2017, and total 983 students have graduated. Among all the 983 graduated students, a total of 952 students decided their career paths by the time of their graduation (as of the fiscal year end). 916 students received job offers, and a total of 899 students received job offers in the field of care welfare (802 job offers from within Akita Prefecture and 97 job offers from outside of Akita Prefecture). Also, it was clarified that there was a total of 36 students who transferred from college to university.

Key words : care worker training education, career path at the time of graduation, receiving a job offer in the field of care welfare

日本赤十字秋田短期大学

Japanese Red Cross Junior College of Akita

I. はじめに

1987年に「社会福祉士及び介護福祉士法」が制定され「介護福祉士」が国家資格として誕生した。秋田県初の介護福祉士養成校は、1990年に秋田市に開学した全日制2年課程の専門学校（定員40名）である。1996年には、秋田市に日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科（定員50名）（以下本学と称す）、大館市に秋田桂城短期大学人間福祉学科（定員40名）が開学、2012年には、湯沢市にある秋田県立湯沢翔北高等学校に専攻科（定員20名）が開科した（秋田県立湯沢翔北高等学校，2017）。なお、秋田桂城短期大学は2005年に4年制大学へ改組し秋田看護福祉大学に名称を変え、介護福祉学領域から社会福祉学領域への拡充をはかった（秋田看護福祉大学，2017）。

介護・福祉領域を取り巻く社会の変貌は著しく、介護福祉士養成校にも大きな変化がみられる。2006年度には409校あった介護福祉士養成校は、介護福祉士を志す者が激減し、2013年には378校になった。また、入学定員も26,855人から18,861人に減少した（田中，2014）。2017年度の介護福祉士養成校入学者は7,258人と過去最少であり、その充足率は45.7%である（官庁通信社，2017）。

秋田県においては、1990年に開学した専門学校が2017年に27年の歴史に幕を閉じた。このような状況下で、本学介護福祉学科は形を変えることなく21年が経過した。2017年3月には20期生が卒業し、卒業者の総数は983名である。これまで単年ごとに卒業時点での進路状況を学校案内やホームページ上で公表してきているが、卒業生全体の進路状況を整理した資料がない。そこで、

各期の卒業時点での全卒業者の進路を整理し、本学の介護福祉士養成校としての20年の歴史の一端を回顧する。

II. 調査目的

本学全卒業者の各期の年度末における進路動向と介護福祉士養成校としての20年の歩みを知る。

III. 調査概要

1. 対象：本学介護福祉学科の卒業生
1期生から20期生。
2. データ収集方法：本学学生委員会が年度末に集計した卒業者の進路決定（内定）報告書から抽出した。なお、休学等により2年間で卒業しなかった者については、卒業年度の「期生」とした。
3. 調査項目：①卒業生数と性別
②卒業時点での進路の状況
③進学先 ④就職地域 ⑤就業先
これらを実数及び百分率で示した。
4. 倫理的配慮：集計結果は統計的に処理されており、学校案内やホームページ上で公表している。また、個人情報保護の観点から個人が特定できないようにした。

IV. 調査結果

1. 1期生から20期生の卒業生数と性別

卒業生983名の性別の内訳は、男性200名(20.3%)、女性783名(79.7%)であった。各期における卒業生数の内訳を図1に示す。

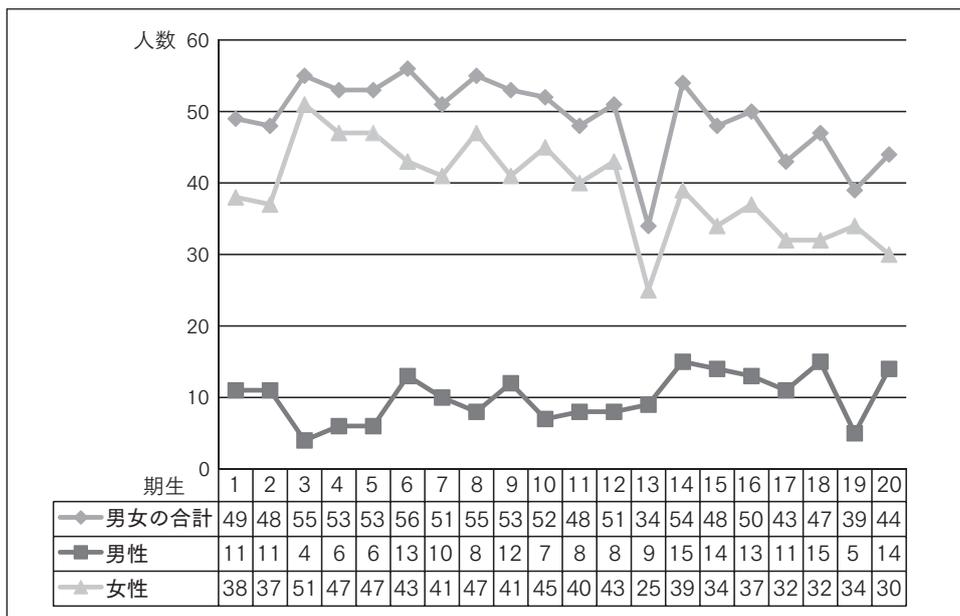


図1 各期の卒業生数と性別

2. 1期生から20期生の卒業時点での進路状況

卒業時点(各年度末)での進学者総数36名(3.7%)及び就職内定者総数916名(93.2%)を合わせると進路決定者は952名(96.9%)となった。なお、未決定者については個人的な事情の他、就職試験の結果待ちの者等も含む。表1に各期の進路状況を示す。

3. 1期生から20期生の進学の状況

福祉系の4年制大学(全日制)に編入学した者及び、進路変更のため大学や専門学校に再入学した者は36名であった。なお、卒業後に福祉系大学の通信課程に編入学する者はいたが、編入希望する大学の受験資格要件が「卒業見込み」を認め

ておらず、編入学試験は年度明けに行われていた。したがって、各期の年度末時点で通信課程への編入学決定者はいなかった。なお、3期生および14期生から17期生までには卒業時点で進学した者はいなかった。表2に各期の進学先を示す。

4. 1期生から20期生の就職内定地域

就職内定者916名のうち、秋田県内に就職内定した者は818名(89.3%)、県外に内定した者は98名(10.7%)であった。県外では岩手県23名、東京都18名、山形県16名、宮城県13名の順に就職内定者が多かった。表3に各期における卒業時点での就職地域の分布を示す。

表1 各期の卒業時点での進路決定状況

n=983

卒業年度	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	合計
期 生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	名 (%)
進 学(名)	6	2	0	5	2	3	1	1	2	3	3	1	2	0	0	0	0	3	1	1	36 (3.7)
就 職(名)	37	43	54	46	50	53	48	54	51	49	45	50	32	53	47	48	39	41	36	40	916 (93.2)
未 定(名)	6	3	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	3	2	3	31 (3.2)
進路決定率(%)	87.8	93.8	98.2	96.2	98.1	100	96.1	100	100	100	100	100	100	98.1	97.9	96.0	90.7	93.6	94.9	93.2	983 (100)

表2 各期の進学先状況

卒業年度		'97	'98	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'14	'15	'16	合計	
期 生		1	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	18	19	20	(名)	
編 入 学	岩 手 県 立 大 学													1			1 2	
	東 北 福 祉 大 学	6	2	4	2	2	1	1	1	3	3		2				27	
	仙 台 白 百 合 女 子 大 学													1			1	
	秋 田 看 護 福 祉 大 学													1			1	
	日 本 福 祉 大 学													1			1	
北日本ヘアスタイリストカレッジ									1								1	
尚 綱 女 子 短 期 大 学				1													1	
秋田市医師会立看護専門学校						1											1	
日本赤十字秋田看護大学*																1		1
計		6	2	5	2	3	1	1	2	3	3	1	2	3	1	1	36	

* 日本赤十字秋田看護大学の開学は2009年

表3 各期の卒業時点での就職内定地域

n=916

卒業年度	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	合計 (名)	(%)
期 生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
秋 田 県	32	41	50	34	44	45	46	51	47	39	37	44	31	50	43	47	36	35	30	36	818	(89.3)
北 海 道																				1	1	(10.7)
青 森 県	1	1		2	1	1			1										1		8	
岩 手 県	1		1	4	1	1	1	2		4	2	2					1		2	1	23	
宮 城 県	1			1	1	3			1	2							1	2	1		13	
山 形 県				2	1	1				4	3	2	1			1				1	16	
福 島 県				1					1												2	
新 潟 県	1	1		1																	3	
長 野 県	1			1		1															3	
埼 玉 県			1															1			2	
千 葉 県											1			1							2	
東 京 都			1			1		1			2	1		2	4		2	3	1		18	
神 奈 川 県			1		1							1						1			4	
愛 知 県									1												1	
京 都 府					1																1	
不 明 *							1														1	
計	37	43	54	46	50	53	48	54	51	49	45	50	32	53	47	48	39	41	36	40	916	

* 秋田県外に就職したが、地域を特定できず。

5. 1期生から20期生の就職内定分野

社会福祉法人や民間企業等で高齢者介護・支援に関する領域に内定した者を「高齢者介護・支援機関」、社会福祉法人や民間企業等で障害者介護・支援及び救護施設に内定した者を「障害者支援機関／保護施設」の分野に分け、「病院」、「社会福祉協議会（社協）／社会福祉事業団（事業団）／公社等」、「行政機関」、「一般企業」と合わせて6種に分類した。

就職内定分野別では、秋田県内の高齢者介護・支援機関に就職内定する者が652名（71.2%）と多く、次が秋田県内の病院80名（8.7%）であった。表4に各期の卒業時点での秋田県内外の就職内定分野別分布を示す。

6. 日本赤十字社施設への就職内定状況

全卒業者のなかで、日本赤十字社が設置する施設へ16名が就職内定していた。長野赤十字上山田病院（長野県）2名、特別養護老人ホーム日赤鷲鳴荘（岩手県）4名、特別養護老人ホーム彩華園（埼玉県）1名、総合福祉センターレクロス広尾（東京都）9名であった。なお、総合福祉センターレクロス広尾は2016年度の募集から本学を「推薦採用」として、1次試験を免除している。

表4 各期の卒業時点での就職内定分野別分布

n=916

卒業年度	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	合計 (名)	(%)	
期 生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
秋 田 県 内	高齢者介護・支援機関	28	26	31	24	33	35	37	41	39	33	29	37	26	42	38	39	30	27	26	31	652	(71.2)
	障害者支援機関／保護施設	2	1	2		1	3	5	4	2		2	3	3	2	1	3	3	3	3	2	45	(4.9)
	病院	1	6	10	7	5	3	3	4	6	5	6	4	1	4	4	3	2	3		3	80	(8.7)
	社協／事業団／公社等	1	6	5	2	4	1		2					1	1				2			25	(2.7)
	行政機関		1	1	1		1	1							1	1						7	(0.8)
	一般企業		1	1		1	2				1						1	1		1		9	(1.0)
秋 田 県 外	高齢者介護・支援機関	2	1	4	11	4	8	1	3	4	8	4	5	1	1	4	1	3	6	6	2	79	(8.6)
	障害者支援機関／保護施設										1										1	2	(0.2)
	病院	2	1		1	2					1	3	1		2							13	(1.4)
	社協／事業団／公社等	1										1									1	3	(0.3)
	一般企業							1														1	(0.1)
計	37	43	54	46	50	53	48	54	51	49	45	50	32	53	48	47	39	41	36	40	916	(100)	

表5 日本赤十字社施設への就職内定状況

施設名	人数
長野赤十字上山田病院*（長野県）	2
特別養護老人ホーム日赤鷲鳴荘（岩手県）	4
特別養護老人ホーム彩華園（埼玉県）	1
総合福祉センターレクロス広尾（東京都）	9
合 計	16

*2009年、医療法人長野寿光会が引き継ぎ、医療法人長野寿光会上山田病院として運営されている。

V. 考 察

1. 卒業者数について

各期の卒業者数は当然のことながら入学者数に関連している。前年度の卒業者数が多ければ、翌年度が減少というように増減を繰り返し規則性があるかのようにみえるが、偶然といえよう。

1期生から9期生を対象に行った調査（藤沢、高橋、佐藤、村上、2007）によると、入学者の約90%が県内の高等学校卒業生であることが明らかになっている。また、9期生以降の就職内定状況からも同様のことが推測でき、本学で介護福

祉士の資格取得を目指す者は県内の高等学校卒業生が多いことがうかがえる。これは、文部科学省（2017）から公表されている平成25年度から平成28年度の「当該短期大学の存在する県内高等学校卒業生の平均割合約68%」を超えた高い数字になると予測できる。さらに、卒業者の約9割が秋田県内の介護・福祉領域に内定していることから、人口減少の続く秋田県において地域に密着した短期大学になっているといえるのではないだろうか。

各期の卒業者数を見ると、13期生の卒業者数が34名と極端に少ない。そこで、各期の入学時点での県内の18歳人口の状況と比較したが、県内の18歳人口が大幅に減少してはいなかった（美の国秋田ネット、2017）。13期生が入学する2008年は、全国で介護福祉事業を展開している巨大企業で働く職員の劣悪な環境や介護報酬の不正請求に関することが連日のように報道されていた頃であり、介護・福祉領域で働くことに負の影響を与えた影響があったのではないかと推測される。

また、近年は、入学者数の減少が顕著となっている。社会ニーズの高まりによって介護福祉士が誕生し30年が経過したが、その間、専門的知識・技術をもって、心身の状況に応じた介護を行うこ

とを業とする介護福祉士の「介護の専門性」を明確にして社会に浸透できていれば、それに応じた対価が保障され、国家資格である「介護福祉士」の社会的地位が確立されて行ったのではないだろうか。

2. 1 期生から20期生の卒業時点での進路状況について

1) 進学について

進学者のうち、福祉系の大学への編入が36名中32名(82%)であった。編入学を希望する学生との面談では、「社会福祉士」を取得したいとの要望があった。福祉領域で働く「将来の自分の姿」をイメージし、かつ、経済的事情も考慮した上で、取得できる資格は社会に出る前に取得したいという思いからと推察する。また、介護福祉学の学びを深めていくなかで、福祉の現状に課題を持ち、フィールド調査のスキルを高めたいと編入学を希望する者もいた一方で、進路変更のために進学する者もいた。

なお、東北福祉大学への編入学者が多かったのは、本学1期生の編入学者の実績や、学内で行う進学ガイダンスに東北福祉大学に編入学した者を招く機会が続いたこともあり、受験に向けて傾向と対策を練り易いことも要因として考えられる。さらに、地理的条件や福祉現場で働いている卒業者の実績からだと推察する。

2) 就職について

厚生労働省社会保障審議会福祉部会福祉部会福祉人材確保専門委員会(2015)によると、2013年度時点での介護福祉士登録者数は約120万人であるが、介護従事者は約66万人(55.0%)である。本学の卒業者に至っては、卒業時に899名(91.5%)が介護・福祉領域に内定しており、慢性的な人材不足にある介護・福祉領域への貢献度は高い。その一因として、これまで介護福祉士養成カリキュラムの改正が行われたが、介護実習に係る450時間は一貫して変更されていない。この長時間にわたる介護実習がインターンシップのような役割を果たし、介護福祉士として働くことに対する不安が軽減され、やりがいと働く自信が持てるようになるからではないだろうか。その反面、介護福祉士として働くことに迷いのある者にとっては進路変更を決める大きなきっかけになっていると思われる。

また、開学当初と近年の年度末時点「未定者」については、未定になっている理由が異なっているように感じられる。開学当初は求人開拓に奔走していたと推察する。開学当初の個別進路状況一覧表には、印字されずに手書きで就職内定が追加されている箇所が多くみられた。施設や事業所等の求人募集や就職試験が年度末近くに行われ、その結果、就職内定の遅れが「未定者」となって表れている感がある。近年は、介護職員の減少により求人募集や就職試験の時期も早くなっている。さらに、本学の認知度や卒業者の活躍もあり、秋田県内外からの求人件数は延べ300件に及ぶ状況にある。しかし、介護職に就かない、または就きたくない者が進路に迷い「未定者」になっていることが個人面談等で明らかになっている。

一方、就職内定者の内定分野に「高齢者支援機関」が多いのは、高橋(2013)が述べたように、介護福祉士制度設立の史的背景とテキストの内容、長期間の介護実習に高齢者施設が多いことが一要因になっていると思われる。

県外に就職内定した者のうち、岩手県や山形県については、出身県に戻る者が多く、親元を離れて自立してみたいと希望する者は、宮城県や東京都に集中する傾向にあることが進路面談等でうかがえる。なかでも2012年度から運営を開始した日本赤十字社総合福祉センターレクロス広尾(東京都)への就職が多い。その理由として、赤十字の短期大学で学ぶ過程で、赤十字ブランドに対する信頼と安心感が生まれるからではないだろうか。

VI. おわりに

全卒業生983名のうち各期の卒業時点(年度末)で就職内定した者の総数は916名であり、介護・福祉領域(「高齢者介護・支援機関」「障害者支援機関/保護施設」「病院」「社会福祉協議会(社協)/社会福祉事業団(事業団)/公社等」)へ就職内定した者の総数は899名(秋田県内802名、県外97名)であった。また、進学者の総数は36名であることが明らかになった。

利益相反

本稿において利益相反に該当する事項はありません。

引用文献

秋田看護福祉大学 (2017). 沿革と概要.

<http://www.well.ac.jp/information/outline.html>,
2017年8月8日.

秋田県立湯沢翔北高等学校 (2017). 学校沿革.

http://www.shouhoku-h.akita-pref.ed.jp/cgi-bin/index.cgi?sm=introduce&tp=introduce_enkaku,
2017年8月8日.

美の国秋田ネット (2017). 秋田県の人口と人口動態 (秋田県年齢別人口流動調査結果) 過去データ (平成18年～平成28年).

<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/2077>, 2017年8月8日.

藤沢緑子, 高橋美岐子, 佐藤沙織, 村上照子 (2007).

日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科卒業生の就業状況と職業意識－卒業生の動向調査から (その2)－. 日本赤十字看護大学・秋田短期大学紀要, 12, 73－82.

官庁通信社 (2017). 介護のニュースサイト.

<http://www.joint-kaigo.com/article-4/pg987.html>,
2017年8月18日.

厚生労働省社会保障審議会福祉部会福祉部会福祉人材確保専門委員会 (2015). 参考資料3, 5.

文部科学省 (2017). 短期大学・大学の自県内入学率.

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/tandai/index.htm, 2017年11月24日.

高橋謙一 (2013). 介護福祉士養成校における卒後教育の方向性について－A県A市の介護福祉士養成校の動向調査から－. 日本赤十字看護大学・秋田短期大学紀要, 18, 37－43.

田中博一 (2014). 介護人材に関する意見. 公益社団法人 介護福祉士養成施設協会資料4, 介護福祉士養成施設入学者の推移, 6.